

学校法人関西大学の長期ビジョンに基づく 平成 26 年度版中期行動計画について

本学は、平成 20（2008）年 7 月に学校法人関西大学の長期ビジョン「KU Vision 2008-2017」を公表し、翌 21（2009）年 10 月には、長期ビジョン「KU Vision 2008-2017」具現化のための長期行動計画を公表しました。これは、長期ビジョンに基づき 10 年後の本学のあるべき姿をめざして、その実現に向けた改革の基本方針（戦略）を掲げ、10 年間の基本目標・施策を示すものです。

平成 24（2012）年度に策定 5 年目を迎えたことから、過去 5 年間の計画の進捗等に関する検証と、後半 5 年間（平成 29 年度まで）の計画内容、遂行体制等について見直しを行い、平成 25（2013）年 5 月に長期行動計画の改訂版を策定いたしました。

この長期行動計画【改訂版】の内容を参照しながら、平成 26（2014）年度から平成 29（2017）年度までの中期 4 年の行動計画を策定いたしました。

1 長期ビジョン「KU Vision 2008-2017」

本学は、今後、世界水準を視野に入れた大学に発展していくために、学園の 10 年後のあるべき姿＝将来像を展望した、**学校法人関西大学の長期ビジョン「KU Vision 2008-2017」**を策定しました。

その長期ビジョンのめざすべき方向性としては、

「社会を見つめ、変化に挑む。『考動』する関大が世界を拓く。」

をスローガンに、社会の中の学園ということを常に意識しながら、「『考動』する＝自らの頭で自主的に考え、自律的かつ積極的に行動する」関大人として、変革に挑み、新たな世界を切り拓くことをめざします。

この大きな方向性を支える 5 つの柱として、次のビジョン 5 項目を設定しました。

- 1 躍動的な「知の循環」システムの構築
- 2 「考動力」あふれる人材の育成拠点
- 3 教育を支える「鍛えられた研究力」
- 4 ソーシャル・ネットワークの拡充
- 5 ゴーイング・コンサーンとしての学園

本学はこれまでも、建学の精神及び経営理念に基づき、絶えざる改革を実行してきましたが、今後は、それらの実績を踏まえ、長期ビジョンに基づき、120 余年の伝統を継承しつつ、新たな時代を切り拓くフロントランナーとしてさらなる改革を進めていく所存です。

そのためにも、この長期ビジョンを全構成員が理解・共有し、同一方向へとベクトルを合わせ、一丸となって長期ビジョンの達成に向け取り組んでいきます。

2 長期ビジョンを達成するための中長期行動計画

長期ビジョンを実現するために策定した長期行動計画は、8 つの分野―①「教育改革(学部・大学院)」、②「教育改革(併設校)」、③「研究改革」、④「学生支援改革」、⑤「大学入試改革」、⑥「社会連携・生涯学習改革」、⑦「国際化」、⑧「組織・運営基盤の構築」からなっています。ビジョン実現に向け、特に重点的に取り組むことが必要な分野について、基本方針及び具体的施策をとりまとめ、策定以降、計画の具現化に取り組んでまいりました。

この長期行動計画をもとに、中期 4 年の行動計画にブレークダウンして、計画を遂行しています。

長期行動計画策定の考え方

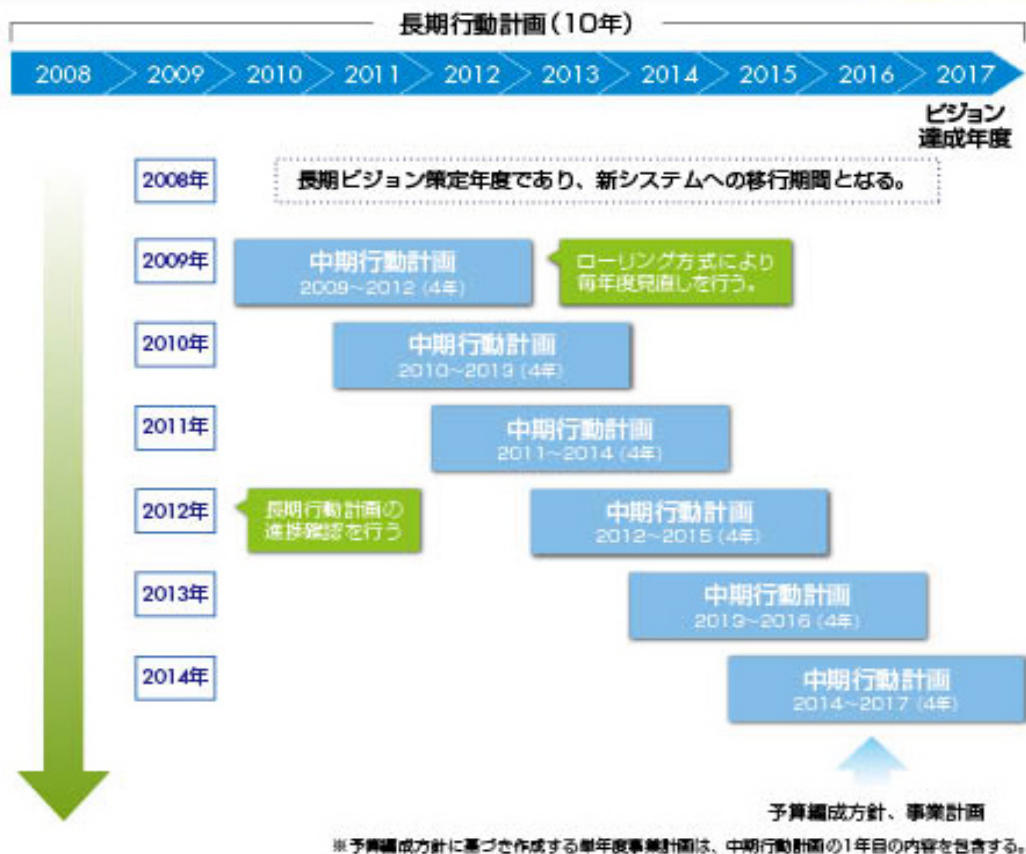
長期行動計画(10年)

ビジョン実現のためにどのように進めていけばよいか、基本方針を示したものの。また、実現に向けて10年間で特に重点的に取り組むことが必要な施策について方向性を示したものの。教育、研究、学生支援等、8つの分野を設定し、重点施策の方針を策定する。

中期行動計画(4年)

長期行動計画に基づき、改革を計画的かつ効果的に実施するための具体的な事業計画を示すもの。ビジョン達成年度である2017年度までの期間において、4か年の事業計画を策定し、毎年度ローリング方式により見直しを行う。1年毎に進捗状況報告を行うこととする。

中長期行動計画の実行の流れ



今後も引き続き、中長期行動計画を推進し、ビジョンの実現をめざしていきます。

平成 26 (2014) 年度版の中期行動計画については、次表に掲載しています。

平成26年度版「中期行動計画（4年）」総括表

No.	実施主体	標 題	新規	継続
1	法人部門	創立130周年記念事業の立案・推進		○
2		長期行動計画（改訂版）の推進及び次期の長期ビジョン等の策定	○	
3		戦略的広報活動の再構築及び再展開	○	
4		ユニバーシティ・ガバナンス体制のさらなる強化		○
5		併設校教諭の人事関連制度改善		○
6		キャンパスグランドデザインに基づく学内施設・設備の戦略的整備（第Ⅱ期）		○
7		財政基盤の更なる安定化に向けた取組みの強化		○
8		併設高等学校の内部進学に係る入試制度の改革		○
9		併設高等学校・中学校の特色化・差別化に係る基本方針の策定		○
10	大学全体	学内禁煙・分煙化の推進		○
11		教育研究の充実に係る人的基盤の強化のための教員配置の実施（大学全体及び学部・大学院改革に係る教員配置）		○
12		大学院の活性化に向け大学全体として取り組むべき改革の実施		○
13		グローバル化を見据えた教育・研究の活性化に向けた教学組織等のあり方の総合的検討	○	
14	法学部・法学研究科	法科大学院進学支援のための法学部と本学法科大学院の連携教育プログラムの策定と実施		○
15		法学部教育に適した学生を受け入れて行くための選抜の仕組みの策定と実施		○
16		現行の研究科カリキュラムの改善と院生の研究環境・指導体制の整備		○
17		現行カリキュラムの修正と補完		○
18	文学部・文学研究科	適切な入学者確保に向けての学部内各種入試の検討と改善		○
19		学部における初年次教育カリキュラムの改革と充実	○	
20		大学院教育の多様化と高度化のための教育課程の改編および副専攻の充実	○	
21	経済学部・経済学研究科	学部新生への入学前教育の強化と充実		○
22		学部教育の国際化戦略の実施と完全定着へ向けたセカンド・ステージ		○
23		ゼミ（演習）の必修化に伴う少人数教育のさらなる充実		○
24		経済学研究科の入試・教育制度の点検と整備		○
25	商学部・商学研究科	DSI（サービス・イノベーション特別プログラム）を通じた大学院との連携、産学連携の推進		○
26		ALSP（会計連携特別プログラム）を通じた大学院との連携、高大連携の推進		○
27		大学院教育の充実・国際化と学部との連携強化		○

No.	実施主体	標 題	新規	継続
28	社会学部・社会学研究科	アドミッション・ポリシーに基づく入試制度の改革		○
29		学部及び大学院におけるカリキュラム改革と充実		○
30		躍動的な『知の循環』のための社会連携の推進		○
31	政策創造学部・ガバナンス研究科	大学院ガバナンス研究科ガバナンス専攻（仮称）の博士後期課程の設置検討		○
32		政策公務セミナーの実施による学生支援体制の一層の充実		○
33		語学研修プログラム等の実施による学部カリキュラムの国際化・充実	○	
34	外国語学部・外国語教育学研究科	全学外国語科目のさらなる充実		○
35		研究科における教育の国際化推進とカリキュラム・領域の一部改編		○
36		学部新カリキュラムの実施と展開		○
37	人間健康学部	スポーツ及び福祉関係の資格取得関係実習科目等の修得に係る体制強化と充実		○
38		堺市の課題解決に向けた連携事業及び教育研究活動の実施		○
39		学部開講授業・実習及び課外活動に必要な体育施設の確保に向けた取り組み		○
40		人間健康研究科修士課程の組織改革及び博士課程後期課程の設置の検討	○	
41	総合情報学部・総合情報学研究科	高槻キャンパス／総合情報学部開設25周年記念行事の実施に向けた検討		○
42		実習に係わるカリキュラムの改革および実習環境の整備		○
43		次世代グローバルリーダー育成に向けた外国語カリキュラムの改編	○	
44	社会安全学部・社会安全研究科	社会安全学部における研究の国際化促進		○
45		学部・研究科のカリキュラム改編及び教員任用計画の遂行		○
46		関西大学社会安全学部の全国的認知度の向上	○	
47	システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部・理工学研究科	学部早期卒業・大学院早期修了制度の全学科・全専攻への導入		○
48		大学院理工学研究科博士課程（前期課程・後期課程）の充実		○
49		理工系学部・研究科の教育・研究のグローバル化（国際化）		○
50	東アジア文化研究科	新カリキュラムの定着		○
51		複数指導体制の構築と検証		○
52		外国語での研究成果発信の支援		○
53	法科大学院	アカデミック・アドバイザー制度（若手弁護士による指導体制）の充実		○
54		学生および修了生への学習環境支援		○
55		学生および修了生への就職支援		○
56		受験者・入学者増加施策の実施		○
57		「文科省による公的支援の加算条件」対応	○	
58	会計研究科	会計研究科の再編を含む改革	○	
59		幅広い専門職養成のための教育カリキュラム充実と強化	○	
60		学生と監査法人・企業との相互交流の充実	○	

No.	実施主体	標 題	新規	継続
61	心理学研究科	協力型研究体制の構築		○
62		地域統合臨床心理研究センターの設立		○
63	教育推進部	教育推進部による教育の充実向上の実現		○
64		全学共通教育の充実		○
65		教育開発支援センターの各種プロジェクトによる教育支援・学習支援の充実		○
66		連合教職大学院（大教大・関西大・近大）への参加を含む教員養成修士レベル化への取り組み	○	
67	学生センター	体育諸施設の整備・充実		○
68		千里山キャンパス保健管理センターと各キャンパス保健室との連携による健康管理体制の向上・強化		○
69		学生の「食」の充実	○	
70		「奨学生会」及び「“学縁” 給付奨学金（仮称）」の設立	○	
71		ボランティア活動を広めるための諸施策の展開	○	
72	入試センター	今後の18歳人口の減少を視野に置いた入試体制の構築		○
73		戦略的な入試諸施策及び入試広報活動の推進		○
74		入試結果を検証し、学部及び大学院の入試制度検討・改善に必要な資料・情報を提供する体制の構築		○
75	キャリアセンター	次代を担う「考動力」あふれる人材育成のための、多キャンパス化に対応したキャリア形成・就職支援及びエクステンション事業の展開		○
76		グローバル・キャリア・プログラムの展開		○
77	学生相談・支援センター	学内における学生相談・修学支援体制の整備		○
78	図書館	図書館資料収集・保管に係るシステムの再構築		○
79		ネットワーク時代に対応した図書館内における学習環境の整備		○
80		図書館運営体制の再構築		○
81	博物館	大阪都市遺産の史的検証と継承・発展・発信を目指す総合的研究拠点の形成（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）の推進		○
82	ITセンター	教育・研究環境やネットワークなどのIT基盤の整備・充実		○
83		「eラーニングシステム」の活用推進		○
84		「eポートフォリオシステム」の活用推進		○
85		携帯情報端末やデータ分析ツールなどを活用した次世代情報システムへの展開		○
86	国際部	日本語・日本文化教育プログラムの拡充		○
87		グローバル化を一層推進するための基本目標・方針の策定とその具現化		○
88	経済・政治研究所	グローバルネットワークの構築に向けた社会連携による公開事業の推進		○
89		関西・大阪に関する重点研究班の研究活動の推進		○
90		社会貢献を指向した研究班の研究活動	○	

No.	実施主体	標 題	新規	継続
91	東西学術研究所	アジア文化研究センター（GSAC）事業の推進		○
92		文化交渉学研究拠点事業の推進		○
93		東西学術研究所と泊園記念会の研究活動の推進		○
94	先端科学技術推進機構	イノベーション創生センターの設立と装置・設備の有効活用	○	
95		先端科学技術推進機構研究員制度の見直しと改編	○	
96	法学研究所	法学研究所研究班の研究活動		○
97	人権問題研究室	戦争の記憶と認識に関する研究—ジェンダーの視点から—		○
98		アジア地域及びヨーロッパ地域における歴史教科書問題に関する比較研究		○
99		部落問題の歴史的研究		○
100		大学におけるインクルーシブ教育の可能性に関する検討		○
101	社会連携部	産学官連携事業の充実と事業展開におけるイノベーション創出を活性する体制整備（含イノベーション創生センター構想）		○
102		「地方の時代」映像祭の事業の展開と充実		○
103		地域連携事業の持続的な取組みと教育・研究の活動場所としてのフィールドワークの拡充		○
104		知財インターンシップ制度の実施（第2期）		○
105		学校インターンシップの新たな展開と充実		○
106		WEB版セミナープログラムのさらなる充実と発展	○	
107		新たな高大連携プログラムの展開（大学側からの一方通行ではない、高校と大学が連携したプログラム）	○	
108	ソシオネットワーク戦略研究機構	ソシオネットワーク戦略研究機構（RISS）の共同利用・共同研究拠点事業の推進		○
109	研究推進部	研究専念型教員・研究戦略担当教員等の制度を導入し大型プロジェクトを強化充実する		○
110		専門性の高い研究支援者による申請から採択後の運営、社会連携、知財活動までをシームレスに支援する組織体制の実現		○
111		関西大学なにわ大阪研究センターの設立	○	
112	第一高等学校・第一中学校	大学及び各種機関と連携した教育活動の充実・強化	○	
113		ICT機器の活用とグローバル人材の育成	○	
114	北陽高等学校・北陽中学校	「授業評価」を実施して、一人ひとりの教師の教育力を高める		○
115		地域貢献を通して、地元から愛される学校づくりを行う		○
116		「自ら考え判断する力」を養うための教育内容・方法の改善	○	
117	高等部・中等部	初等部・中等部からの内部進学、高等部からの関西大学への内部進学にともなう学力向上策の構築		○
118		12年一貫教育における円滑な接続体制の確立		○
119		グローバル人材育成プログラムの研究開発	○	
120		小・中・高等学校12年間を見通した英語教育の研究	○	

No.	実施主体	標 題	新規	継続
121	初等部	12年一貫教育における円滑な接続及び連携体制の確立		○
122		思考力育成を中心とした児童の確かな学力の向上 -ステージ2-	○	
123		9年間を見通した初等部独自の国際理解教育の確立	○	
124	幼稚園	関西大学初等部との連携活動について		○
125		大学との連携活動の推進		○
126		子育て支援策の策定		○
新規／継続の件数内訳：			30	96